

日韓でオリンピックを目指して

スキーオリエンテーリング日韓合同合宿(前半) 2012年3月16日-3月21日 山形県真室川町

日本のスキー0 チームと韓国のスキー0 チームの合同合宿が実現した。韓国から総勢5名の選手団が日本でスキーオリエンテーリング修行に励んだ。

2012年3月16-21日(日) 山形県真室川
スキーオリエンテーリング日韓合同合宿

やる気満々

韓国選手団の内訳は男子高校2年生が2名、男子体育大学生1名、さらに団長のキム監督と、オフィシャルカメラマン1名である。3名は韓国のクロスカントリースキーの選手であり、スキー技術や体力ではすでに高いレベルに達していた。



J-cup が終わった翌日。テレインに入ってスキーオリエンテーリング練習に励む日韓合同合宿。左から、キム監督、黒田、ピョン、リ、バク、堀江、渡辺。今年も3月後半でも積雪充分。この朝は新雪が積もった。



毎回のレースでは腕にGPS ロガーを取り付けて動きを記録する。毎日その記録を地図に合成して分析する。またコース上でのラップ解析をもとに個々の課題を浮き彫りにしてゆく。堀江や黒田といった日本のトップ選手と韓国選手の動きの違いがはっきりと理解できる内容の濃いミーティングが連日行われた。

短期に成長!

日韓合宿は3月17日(土)に行われるスキーオリエンテーリング J-cup 大会からその翌週のスキーオリエンテーリング全日本大会をつないだ日程で行われた。日本のスキー0 大会の中でも最も密度の濃いレースを連続して体験することで韓国選手は大きく成長した。

もともとスキー技術がしっかりと仕込まれている上に、ジュニアならではの吸収力のよさ、さらに気迫に満ちた滑りでどんどん成績を伸ばしてきた。

スキーオリエンテーリング競技初体験となる J-cup1 日目では筆者・木村でも韓国選手の全員に勝つことができたが、J-cup2 日目になると韓国選手の1人には完敗し、1人もペナがなければ完敗状態だった。



渡辺幸を追いかけるリ。ともに高校生スキーオリエンティア。韓国では日本のような大雪が積もることはなく、韓国選手にとって雪国は驚きの連続。

キーパーソン・キム監督

キム監督は韓国オリエンテーリングユース連盟の会長である。2011年2月に行われた冬季アジア大会の韓国選手団オリエンテーリング種目の監督でもある。カザフスタンで日本視察団と韓国のキム監督が接触したところから今回の日韓合同合宿の話が始まった。



韓国の監督、キム・コンチル。今回の合宿を実際に体験して、日本チームから多くのアイデアを得たと話していた。私たちが当たり前と思う事も新鮮に思う所があったのかも知れない。

韓国では2018年に冬季オリンピックが開催される。冬季オリンピックのデモンストラレーションとしてスキーオリエンテーリングができないだろうかとかキム監督は考えている。このために日本から力を貸してほしいという。

「IOFのオリンピックプロジェクトではこの話はもちろん協力するだろう。IOFのスキー0委員長のマルクが駐在している北京からソウルに飛んでくるよ・・・」という話をすると、「いや韓国は日本に協力を求めたいんだ」とキム監督は言う。

「日本にもスキーオリエンテーリングを支える人材は少ない。しかしフットオリエンテーリングの愛好家まで含めて協力者を集めれば何とかなるかもしれない」

スキーオリエンテーリングがオリンピック種目入りを目指すのはスキーオリエンテーリングのためだけではない。すべてのオリエンテーリング種目が世界のそして自分の身の回りの人々に認知されるようになるためにオリンピック種目入りを目指すのだ。そんな夢を共有できる仲間がいれば韓国でのエキシビジョン開催も夢ではない。

日本に先駆けて韓国連盟はオリエンピック委員会に準加盟を果たしている。2011年にカザフスタンで行われた冬季アジア大会のオリエンテーリング種目に韓国を代表して参加しているのがその証だ。



現地で見ながら地図を見てトレーニングの打ち合わせを行う合宿

共に強くなろう

J-cup大会2日間の競技終了後、韓国チームとともにコースで居残り練習をしたのは日本の堀江・黒田・渡辺幸・木村である。日本のエース堀江が先生となり、先ほど行われたレースの振り返り練習、ルートチョイス競争、細かな実践テクニックなどを現場でコーチングしていた。実際のトレインでの練習は2日間におよんだ。さらには普通のクロカンスキーレースでは存在しない急斜面の下り坂の練習など日本のエースの技を次々と伝授していった。

世界選手権 2013年へ

韓国は冬季アジア大会スキーオリエンテーリング種目に参加したことはあったが、スキーオリエンテーリング世界選手権大会に参加したことはない。今回の合宿をきっかけに韓国も世界選手権への参加を強く決意したようだった。



J-cup スプリントリレーのチームメイトとなった高橋美和(左)と韓国高校生のリ(右)。決して南海キャンディーズしずちゃんの記者会見ではない。

オリエンテーリング発展のため

東アジア地区でスキーオリエンテーリングが行われていたのは今まで日本だけだった。それが2011年の冬季アジア大会にスキーオリエンテーリングが正式種目として採用されたことから状況は少しずつ変化している。

韓国が世界選手権に参加し、日韓で交流試合が行われるようになれば、このスポーツの発展に寄与してゆくことになるだろう。

(木村佳司)



J-cupの「ミックスリレー sprint」でタッチを受ける韓国高校生のピョン(左) 右はスキーオリエンテーリングを今年から始めた平野(東北大学)



今回のスキーオリエンテーリング日韓合同合宿はスポーツ振興基金の助成事業。スポーツを通じた国際交流はオリンピックが目指す理念でもある。